

# 第4回 探究型学習研究大会

2020.11.29 日 12:30 ▶ 18:00

オンライン

z o o m

東北芸術工科大学

対象 | 中学・高等学校教員、教育・NPO・自治体関係者

定員 | 150名 事前申込制・参加費無料 ※定員になり次第締め切らせていただきます。

主催 | 東北芸術工科大学

後援 | 山形県教育委員会・山形市教育委員会・宮城県教育委員会 (申請中)

2017年にスタートした探究型学習研究大会は、「**主体的、対話的で深い学び**」を実現するための知を共有する場として、今年で第4回を迎えます。これまで各回とも、中学校・高等学校の教員を中心に、「総合的な学習(探究)の時間」に関心を持つ多くの参加者が、東北芸術工科大学キャンパスに集い、活発な議論を行ってきました。

今春からの激しい社会状況と教育環境の変化の中、各地の中学校・高等学校では、対面的な授業に苦慮する一方で、インターネットを介したフラットなつながりによる時間と距離を越えた連携や、オンラインツールによる学習資源の活用などの可能性を見出してきました。

まさに「**新しい学習様式**」のための仕組みづくりが加速しており、教育の転換期を迎えています。

このように、学びの選択肢が多様になる中で、目的の本質を見極め、適切な手段を考え抜き、生徒達が社会でよりよく生きていくための学びへと導くことが求められています。

そこで今年度は、大会テーマを「**探究型の先にある学びの本質にアプローチする**」と決めました。

プログラム前半では、**横浜創英中学・高等学校校長の工藤勇一氏**をお迎えして、大会テーマに関わるとご講演をいただきます。次に、探究型学習実践事例として、山形県立鶴岡南高等学校 通信制の池田努氏より、「デザイン思考を授業に取り入れることで生まれる教育的効果」について、岩手県立盛岡第一高等学校の梨子田喬氏、いわてNPO-NETサポートの菊池広人氏より、岩手県立大船渡高等学校の「大船渡学」を例に、探究活動の本質をおさえた授業実践のご報告をいただきます。

最後に、本学コミュニティデザイン学科長の岡崎エミの進行により、参加者同士のグループワークを交えながら、新たな学びのスタイルについて意見交換の機会を持ち、議論を深めて参ります。

今日のような社会的な危機だからこそ、失敗を怖れずに、生徒とともに新しいことに挑戦し、学びの本質にアプローチしていく姿勢が「探究」に求められています。ご参加いただいた皆様には、ポストコロナ社会に向けて、ピンチをチャンスにさらに一歩前へ踏み出す力、創造的な学びを引き出し持続させるための糸口を各校に持ち帰っていただき、共有、展開していただければ幸いです。

東北芸術工科大学では、「デザイン思考」を探究的な学習や課題研究に取り組む中学校・高等学校で活用できる考え方と捉え、近隣の中学校・高等学校と協働しながら、探究型学習のプログラム検討・授業連携を行っています。

新型コロナウイルス感染症の流行による影響を考慮して、今年はオンラインでの開催といたします。

# 2020年度 第4回 探究型学習研究大会

日時:2020年11月29日(日)12:30▶18:00

オンライン  
z o o m

定員:150名(事前申込制 | 参加費無料)

テーマ

## 探究型の先にある学びの本質にアプローチする

プログラム

12:15 Zoom開室

12:30 開会挨拶・Zoom動作確認

12:40 基調講演

▼ 「学校教育を本質から問い直す 一何のために探究かー」

14:00 講師:工藤 勇一(横浜創英中学・高等学校 校長)

社会の急激な変化に伴い、明治維新以降続いてきた一斉教授型の学びのシステムが限界にきています。講演ではこうした背景を踏まえ、「学校教育が抱える本質的な課題と解決策」、「解決策の一つとして重要な役割を担う探究型の学習が持つ意義とあるべき姿」について、これまでの学校の実践を踏まえてお話しします。

14:10 探究型学習実践報告

▼ 「デザイン思考による教育的効果」

16:05 報告:池田 努(山形県立鶴岡南高等学校 通信制)

今年3月まで東北芸術工科大学大学院に在籍し、デザイン思考を探究型学習で活用する方法を研究テーマとしてきました。今回は、プロセス・技法・考え方の複合的な概念であるデザイン思考の視点を中心にお話しします。

「大船渡学、その先へ」

報告:梨子田 喬(岩手県立盛岡第一高等学校)

菊池 広人(いわてNPO-NETサポート)

「どうすれば高校生が育つか?」を問いながら、大船渡学は毎年同じことを繰り返さず、新しいチャレンジや設計の変更を続けています。これまでの大船渡学を振り返りながら、探究学習の本質を皆さんと考える機会になればと思います。

16:20 振り返り・意見交換ワークショップ

▼ 進行:岡崎 エミ(本学コミュニティデザイン学科 学科長)

18:00 閉会

申し込み方法 ▶ <https://www.tuad.ac.jp/2020/10/90042/>

申込フォームより必要事項を記入の上お申し込みください。

申込メ切:2020年11月24日(火)

※定員になり次第締め切らせていただきます。

※申し込みいただいた方には、参加者用のIDとパスワードをお知らせいたします。



### Zoomでの参加と、相談窓口について

- 本研究大会では、WEB会議システム「Zoom」を利用します。当日使用するPC、スマートフォン等へのダウンロード及びサインアップを事前に完了しておくようお願いいたします。
- zoomのダウンロード、基本操作に関するご相談を受け付けています。右記担当までお気軽にお問い合わせください。

### 講師紹介

工藤 勇一 | Kudo Yuichi

学校法人堀井学園 横浜創英中学・高等学校 理事・校長

東京理科大学理学部応用数学科卒業、公立学校教員、東京都教育委員

会、新宿区教育委員会教育指導課長、千代田区立麹町中学校校長、2020年4月から現職。

麹町中学校在職中、学校運営に全教職員、生徒・保護者を当事者として巻き込みながら、形骸化した教育活動をスクラップし、再構築した。宿題や定期考査の全廃、固定担任制の廃止、服装頭髪指導の廃止などを行う。

経済産業省「未来の教室とEdTech」研究会委員  
内閣官房 教育再生実行会議委員

主な著書:学校の「当たり前」をやめた。(時事通信社)、麹町中学校の型破り校長 非常識な教え(SB新書)、麹町中学校長が教える 子どもが生きる力をつけるために親ができること(かんき出版)、きみを強くする50のことば(かんき出版)



池田 努 | Ikeda Tsutomu

山形県立鶴岡南高等学校 通信制 教諭

梨子田 喬 | Nashida Takashi

岩手県立盛岡第一高等学校 教諭

菊池 広人 | Kikuchi Hiroto

いわてNPO-NETサポート事務局長

岡崎 エミ | Okazaki Emi

東北芸術工科大学コミュニティデザイン学科 学科長

早稲田大学卒業後、出版社勤務を経て、studio-Lに参画。海士町総合振

興計画別冊をはじめ、各地の住民参画のまちづくりに関わる。2014年より現職。

現在、高校生の地域参画を推進するSCHシンポジウムや高校支援など、教育によるコミュニティデザインを研究中。「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の企画評価委員や同事業で新庄北高校、小国高校、山形東高校の支援をしている。

編著に「Design it yourself」、「コミュニティデザインの仕事」など。2009年パーマカルチャーデザインコース修了。



### 大会コーディネーター

柚木 泰彦 東北芸術工科大学 高大接続推進部長  
プロダクトデザイン学科 教授

寒河江 茂 東北芸術工科大学 教職課程 教授

吉田 卓哉 東北芸術工科大学 教職課程 准教授

### お問い合わせ

東北芸術工科大学

〒990-9530 山形県山形市上桜田 3-4-5

TEL: 023-627-2218 FAX: 023-627-2081

E-mail: y-gakusha@aga.tuad.ac.jp

地域連携推進課 伊藤 迪子(受付:平日9:00-17:15)